

# しおさい かわら版

発行所  
小名浜まちづくり  
市 民 会 議  
TEL: 52-1275  
FAX: 52-1415  
発行日  
平成 27 年 10 月 20 日

## 第62回 いわき花火大会 フォトコンテストグランプリ決定



▶ グランプリ 「降り注ぐ」 杉瀬悠太



▶ 特選 「しぶきの洗礼」 石川義紀



▶ 特選 「煙下に咲く花」 布施雅彦

平成 27 年度第 62 回いわき花火大会フォトコンテストは、皆様の御協力により、10 月 4 日タウンモールリスポにて表彰式を行い、その幕を閉じました。

今年のフォトコンテストでは各イベントともに天候に恵まれたこともあり「花火大会」「いわきおどり小名浜大会」「おなほま海遊祭」をテーマにした各写真を合わせて、158 点もの応募が県内外から集まりました。

今回も力作が多数応募さ

れ、各審査員も審査時には大変苦労があったようです。

グランプリには杉瀬悠太さんの「降り注ぐ」が選ばれ、特選には石川さんの海遊祭でのジェットスキーによる水しぶきを受ける見学者の表情豊かさを写した「しぶきの洗礼」、同賞に田所さんの小名浜海岸壁から打ち上げられるスケールの大きな花火を写した「煙下に咲く花」が選ばれました。

今年のフォトコンテストは「作品の質は年々向上しているが、欲を言えば視点にひと工夫がほしい。プ

リントの仕上げ方でさらに良くなる作品が少なくなく、来年の伸びしろに期待したい」との審査委員長方メラノカシムラ代表櫻村氏の言葉が全てを語っています。

来年はいわき市政 50 周年記念事業最優秀賞のいわき花火大会が予定されています。今迄見た事のない昼花火や、従来以上にスケールの大きな花火大会が期待されています。このフォトコンテストがいわき花火大会を東北に、いや全国に PR する絶好の窓口になればと期待しております。



時の経過は早いものです。今年もあと 2 か月半で新しい年を迎えます。年初の想いは叶えられた 1 年だったでしょうか。日々に追われ大局的な見方で何かを成し遂げていくことは大変難しいことのように思われます。特にまちづくりは、直ぐに答えや成果が出るものではなく目指す青写真に向かって地道な活動を積み上げて行くしかありません。その点では政治活動と共通する点があるかと思えます。まちづくりと政治は大きく関連するもの。11 月には福島県議会選挙が予定されています。自分の 1 票を必ず行使し投票率 NO. 1 のまちに小名浜がなるようにしていきたいものです。投票後に依頼すると受け取れる「投票済票」を活用し自分たちの投票率を把握するという試みも有効かもしれません。小名浜スタンプクラブではこの「投票済票」を活用したサービスもあるようです。

是非いろいろなアイデアで投票率アップを皆様の手で図っていきましょう。その成果は長い時間経過の中で必ず住みよいまちづくりに帰ってくる信じ

て・・・ (著:F・O)

# 9月全体会議

9月24日、小名浜まちづくりステーション会議室において、会員約30名が参加し9月全体会議が開催されました。

今月の全体会議はいわき市役所小名浜支所長の舘典嗣氏をお招きし、「小名浜区の概要」と題し、ご講演いただきました。講演では、平成26年と比べ、市内12

地区で唯一人口が増加している地区であるが、何も対策をとらなければ、現在の小名浜地区の人口約76,000人が、45年後の2060年には約44,000人になると一つの試算がされている。これからは街の活性化のため『重要港湾小名

浜港の整備促進とあわせて『中心市街地活性化法などの活用』による市街地の再開発を検討しているところである」との説明がありました。また、常磐自動車道と連結をめざす「小名浜道路」や、災害公営住宅の現況、小名浜港後背地の事業経過などわかりやすくご講演いただきました。



▶ 今回の講師いわき市役所小名浜支所長 舘典嗣



▲ 講師の話に聞き入る市民会議のメンバー

## 委員長紹介

### まちなか潮目委員会



上野台祐一

当委員会は「まちなかコンサート」開催や各イベントの運営協力、まち開きに向けたイオンモールや汐風竹町通りに関わる各種会合への参加など、今まで同様まちと港周辺の賑わいづくりを中心とした活動を行ってまいります。

また、本年度は小名浜ガイドブックの再編集を行い、自分たちが住むまちをもっと知り、誇りに思い、そして訪れた人たちに説明、紹介できるようなガイドブックを作成したいと考えております。

### 歴史と文化づくり委員会



小野 浩

こんにちは。小名浜生まれの小名浜育ち、わかぎ幼稚園、小名浜東小、小名浜二中、高校そして、大学生。卒業後はいわき市史編さん、埋蔵文化財、文学館、図書館、暮らしの伝承郷と36年間の現役生活を終え、今年4月から嘱託館長、現在61歳。

歴史と文化づくり委員会では、「小名浜地区の歴史・文化・伝統の再発見と次世代への伝承」の取り組みとして、①「(大人の)調べ学習」、②「小名浜アルバム」の作成、③「港湾文化」の形成を3つの柱として活動しています。①の成果は『しおさいかわら版』に「小名浜学事始め」として掲載。地域の魅力は生活空間にあり、ブランド力は自ら創らなければならないと思っています。よろしくお願致します。

### パートナーシップ委員会



小沼 郁互

小名浜まちづくり市民会議において、活動内容の広報と新しい仲間づくり(新入会員勧誘)を担当する委員会です。

広報紙を発行し、回覧板を活用して小名浜地区のみなさんへ会の活動をお伝えしたり、ホームページやフェイスブック等を活用して地域外の皆様へも活動の内容を御紹介して参ります。

また、まちづくりは途切れることなく地域運動として継続していかなくてはなりません。それには、思いを同じくし、共に自らの手で自分たちのまちを創り上げていこうと思う仲間がたくさん必要です。自分たちのまちは自分たちで創り上げなければ誰も創ってはくれません。是非、メンバーに加わり一緒に子供たちへ残したい小名浜を創り上げてみませんか。



写真右は受賞者と阿部館長(左) 作品写真右は一般の部、左はキッズの部最優秀賞



**大漁旗で復興を願う**  
アクアマリンふくしまで、第8回となる大漁旗デザインコンペが開催されました。これは、小名浜環境芸術祭の一環として、全国から広く募集を行い、去る9月26日に表彰式が執り行われた企画です。一般の部の最優秀賞は、いわき市の会社員佐藤正剛さん。キッズの部の最優秀賞は、湯本三小一年生の笹原陽くん。笹原君は二年連続の最優秀賞の受賞です。  
現在、アクアマリンふくしま縄文の里に参加作品が展示されています。

### 小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 してね!

### 会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町11-1(まちづくりステーション小名浜)

TEL: 52-1275 FAX: 52-1415

http://www.onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員(区長)連合会の御協力により配布しております。